

『優しく仲間を』

思いやる心を軸として』

鉄構・溶接業界を一本化し、新たな一歩

ACTIVE KUMIAI

社団法人 山梨県鉄構溶接協会

社団法人山梨県鉄構溶接協会(中出英三会長)は、平成20年に社団法人日本溶接協会山梨県支部を統合し、平成22年の協同組合山梨県鉄構工業会の解散を受け、念願であった鉄構・溶接業界の団体一本化を実現した。それぞれ歴史もあり、会員の結束も固く、独立した事業運営を行ってきた3団体の再編については、非常に大きな決断ではあったが、



業界の拠点『山梨県鉄構会館』(甲府市大津町)

長引く景気の低迷や会員企業の廃業など将来をいち早く見据え、業界全体の団結力と綿密な計画のもとスムーズに実施された。業界が一致団結して新たな一歩を踏み出す転機となる大事業であった。

協会は、性能評価制度の推進、溶接技能者評価試験・溶接技術競技大会の開催、品質の検査、技能講習の実施、情報収集と情報提供などの事業を行っており、性能評価認定においては国土交通大臣認定工場として26社が認定を受けている。また、去る6月には、溶接技術競技大会と高等学校溶接競技会を開催し、一般の部では全国大会、高校の部では関東大会への代表を選出した。

今年1月には全国での不況突破大会にて、需要の激減と受注価格の低迷の打開のために、下請取引の改善、赤字・安値受注の排除などを決議したが、円高や景気低迷による消費の落ち込み、海外移転の拍車による国内空洞化、建設業界においては公共工事の大幅な削減、民間投資の減退などの厳しい経済情勢の中、会員企業は非常に

厳しい経営を迫られている。



溶接技術競技大会

協会は今後も、組織のさらなる強化、活性化を図り、信頼性の高い安心・安全な鋼構造物を社会に供給するため、「優しく仲間を思いやる心」を軸として業界一致団結してこの難局を乗り切っていきたいと考えている。